
会いたい気持ち

さすらいのかえる

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

会いたい気持ち

【コード】

N9406A

【作者名】

さすらいのかえる

【あらすじ】

片思いの女の子のお話し。会いたい人には、多分会わない方が良いでしょう。頭では分かっているんだけど・・・

会わない方が良いとわかっているのだけど、どうしても会いたい・
。。

朝、大学へ向かう途中、何となく彼の姿を探しながら歩いてる自分に苦笑する。ほんと偶然でも良いから会えないかな。別に会えるの願うだけなら良いよねって誰に許可を求めているんだか。はあ

昼休みも、授業の移動の間も、会えるの願っていたけど、今日も結局会えなかった。話す事ができなくても良いから、彼の姿を見たかった。まあ無理だね。学年も違うし、同じ授業を取っているわけでもないのだから。。。。

落胆しつつ家に帰る。帰る途中、何となくコンビニに寄るとレジに彼が並んでいた。願いが通じた!!

さっきまで曇っていた心がウソのように晴れる。でもすぐに曇りになる。いや雨かな。彼女と一緒にいた。あゝ仲良さそうにしているよ。楽しそうに何か話をしていた。

私は気付かれないように移動する。けど、彼から視線が外せない。隠れて見ている自分が居る、ストーカーっぽいかも・・・そう自分で思っただけで落ち込んだ。さっきから、気持ちの上下が激しい、自分自信に呆れてしまう。

彼はお金を払い終えたのだろうコンビニを出て行った。彼女と一緒に。

こういう場面は嫌なのに、彼にただ会えて嬉しいと思っている自分

がいる。はあゝ

私はコンビニを出て家に帰る。一人でとぼとぼ帰っていると泣きそうになってきた。何やってんだろ。好きなのが辛いよ。自分はバカだと思った。

でも、私は明日も願うのだろうな「あなたに会いたい」って。

終わり。

(後書き)

ブログに載っている短編のリメイク第2弾です。良かったら感想くださいな。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9406a/>

会いたい気持ち

2011年1月7日15時05分発行